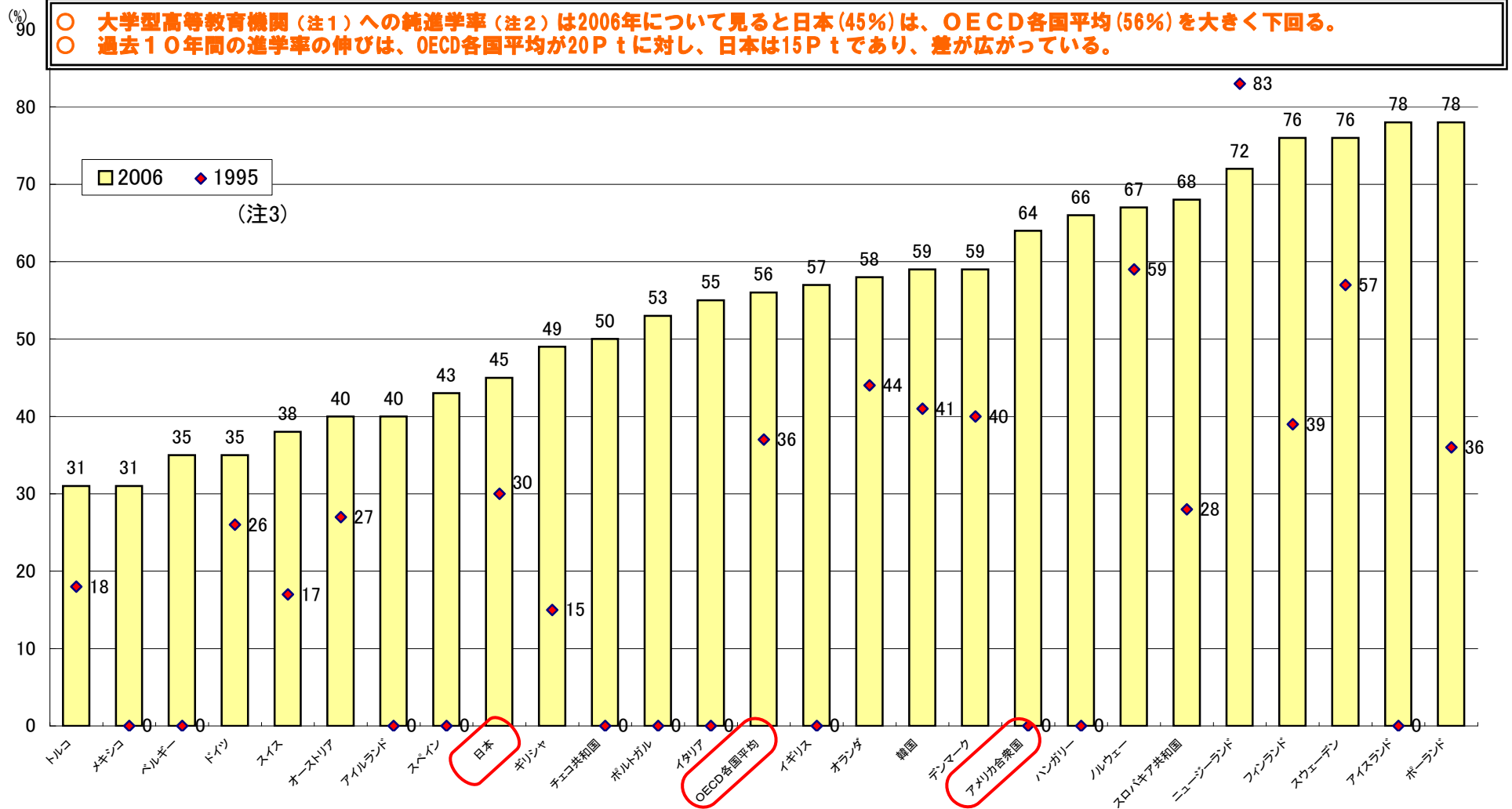


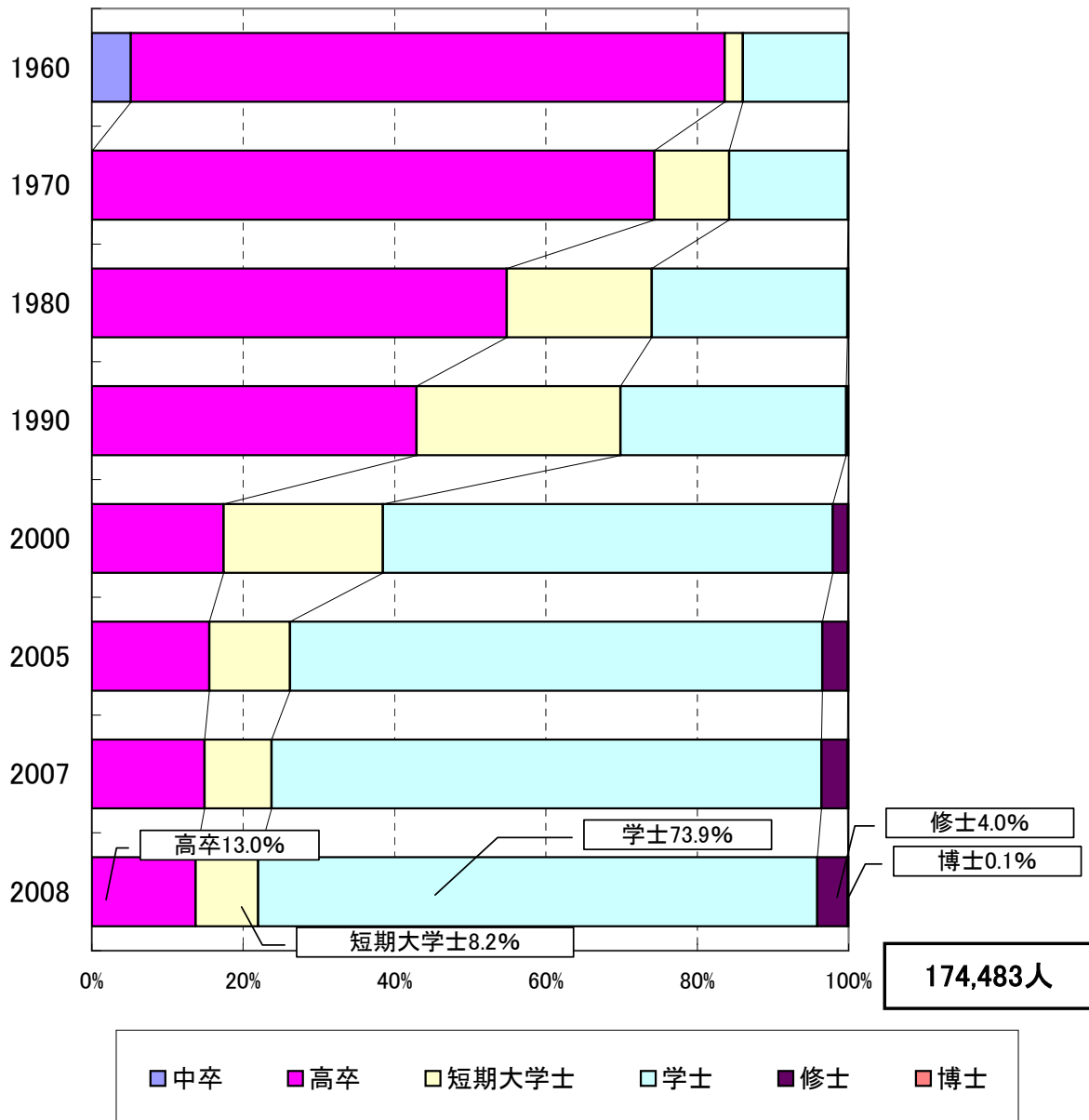
# 1-4 大学型高等教育への進学率の国際比較



注1 「大学型高等教育(ISCED5A)」とは、主として理論中心・研究準備型プログラムで、通算教育年数がフルタイム換算で3年間(一般的には4年以上が中心)のもの。ただし、ここでは、アメリカに関しては、非大学型に分類されるコミュニティーカレッジを含む。  
 注2 「純進学率」とは、各該当年齢人口のうち、高等教育に進学する者の割合をあらわす。各年齢の純進学率は各高等教育機関に初めて入学した学生数を該当年齢で除し、100倍する。日本は、純進学率が計上できないため、「大学学部入学者/18~24歳の平均人口」により算出。  
 注3 1995年の数値が0%に位置する11カ国は、データが得られないため。

## 1-5 新規学卒就職者（事務従事者）の学歴構成

○ 新規学卒就職者の中心となる事務従事者については、約7割が学士取得者



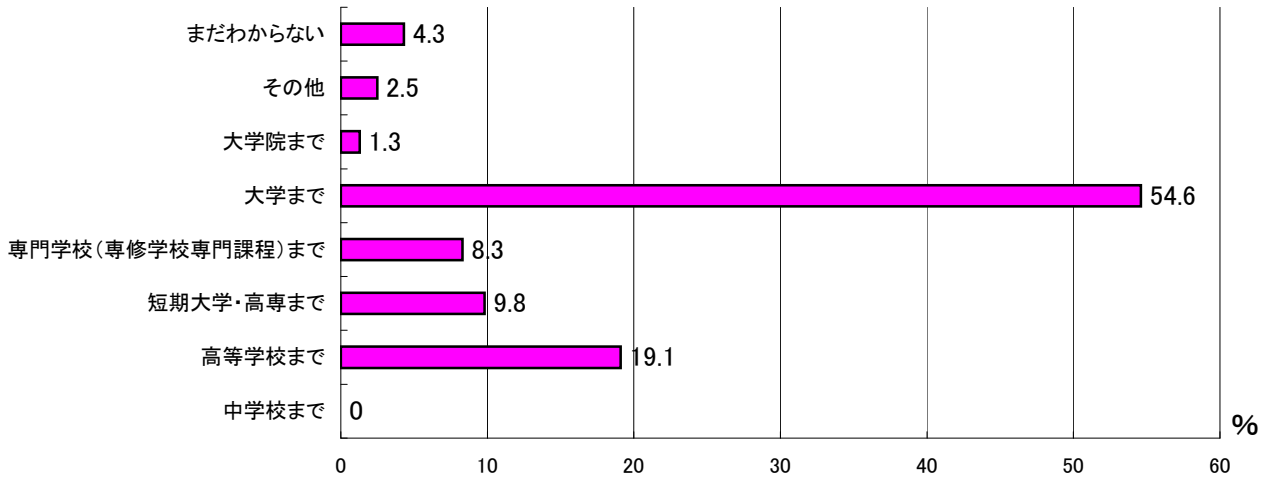
※ 「事務従事者」は、全体の就職者（約72万人）のうち、約23%（約17万人）を占める（2007年度）。「事務従事者」とは、一般に課長（課長相当職を含む）以上の職務にあるものの監督を受けて、庶務・文書・人事・会計・調査・企画などの仕事、運輸・通信・生産関連・営業販売・外勤に関する事務及び事務用機器の操作の仕事に従事するものをいう。一般事務従事者、速記者、タイピスト、電子計算機オペレーターキーパンチャー、秘書、出改札係、電気・ガス等の検針・集金人、営業・販売事務員（営業・販売事務員、販売伝票記録整理員）等。

（出典）文部科学省「学校基本調査速報」（平成20年度）

## 1-6 親の子どもへの期待（進ませたい学校段階）

### ◆ 進ませたい学校段階

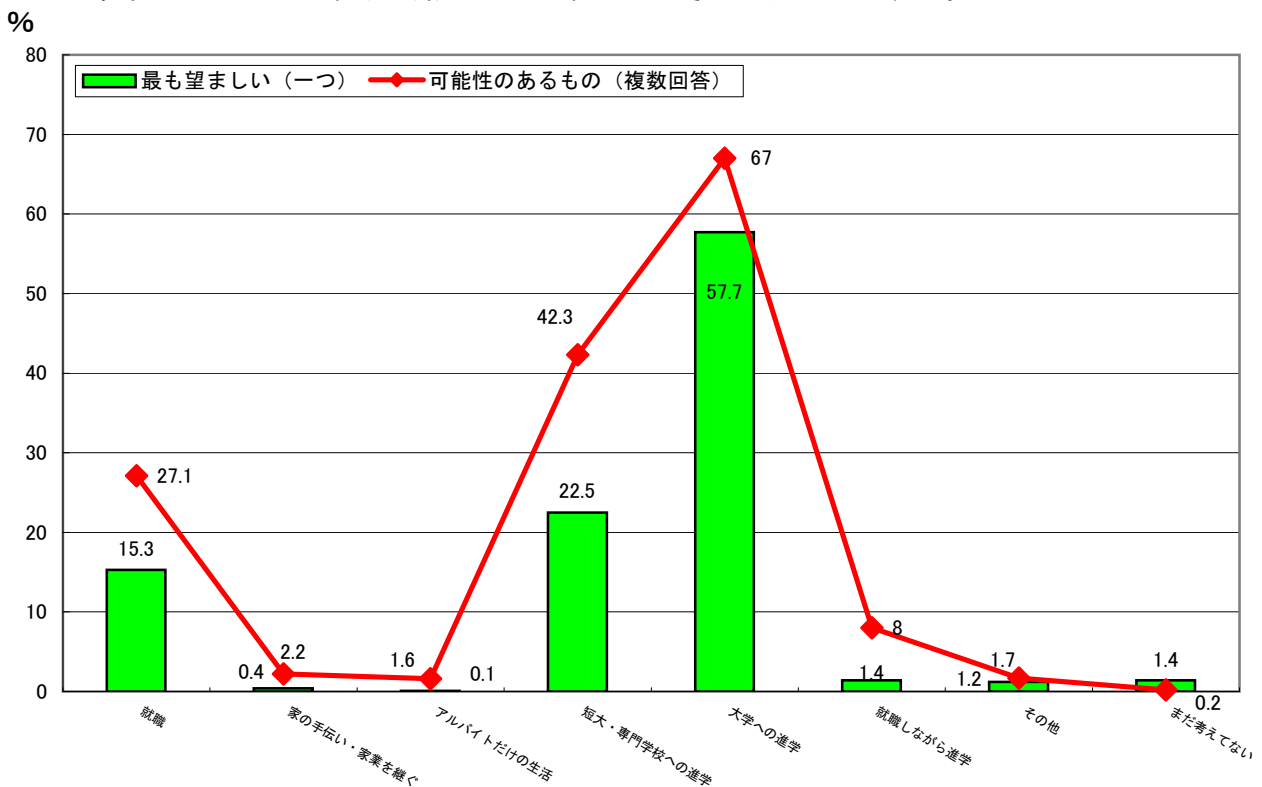
Q：自分の子どもを、どの段階の学校まで進ませたいと思いますか。



【調査対象】 小学校4年生から中学校3年生の親998名  
 (出典) 内閣府「日本の青少年の生活と意識」(2000)

### ◆ 高校卒業後の進路について

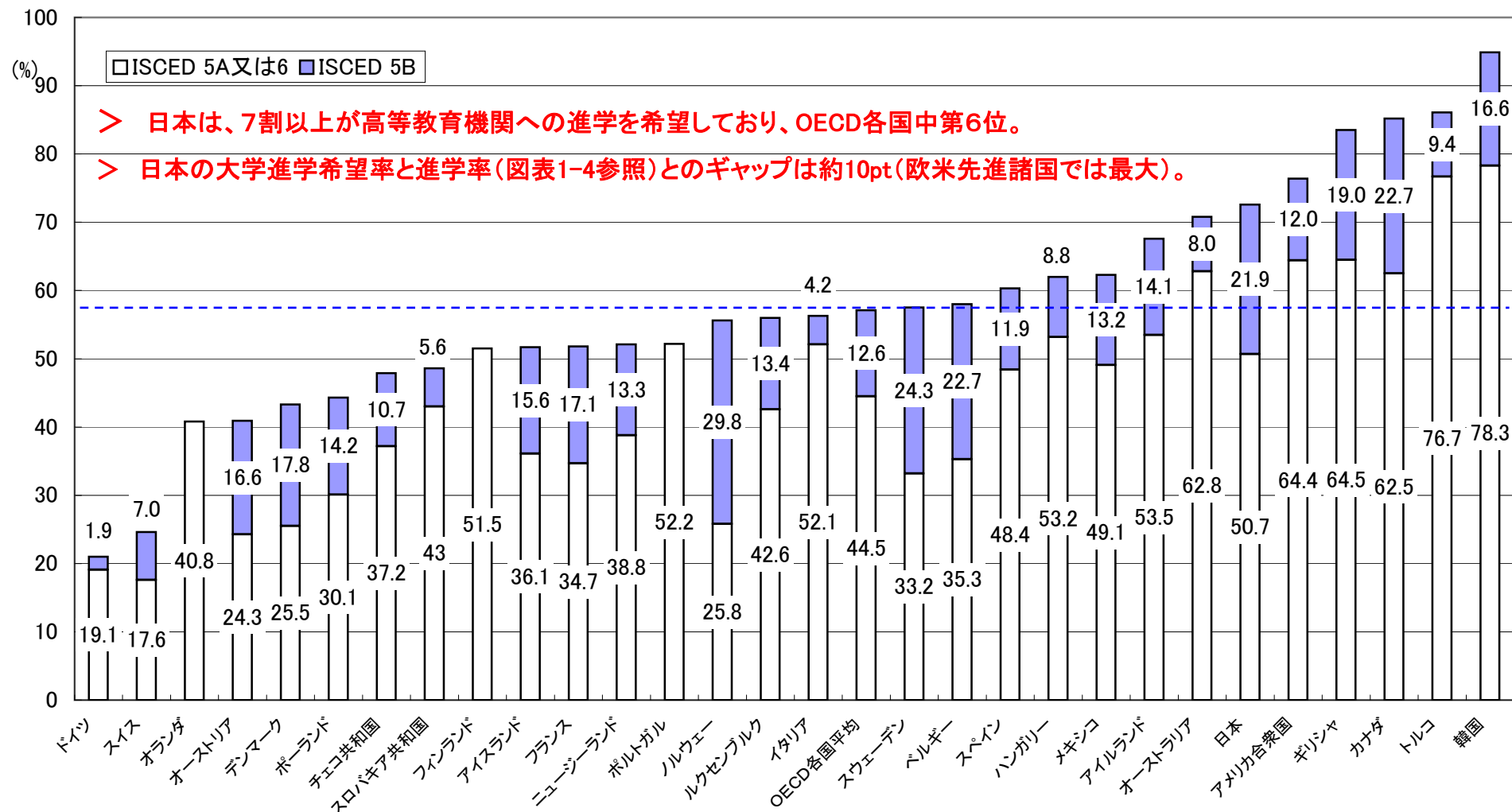
Q：卒業したらどのような進路に進んで欲しいと考えておられますか。



【調査対象】 全国の高校3年生の保護者4000人(父親9.0%、母親90.8%、その他0.2%)

(出典) 東京大学大学院教育学研究科 大学経営・政策研究センター  
 「高校生の進路についての調査」(2005)

# 1-7 15歳の生徒の進学希望率の国際比較



※ 2003年に実施された「生徒の学習達成度調査(PISA)」のデータより、15歳児が最終学歴としてどの教育段階を考えているのかの割合を示したもの。  
 ※ 「ISCED5A(大学型高等教育)」とは、主として理論中心・研究準備型プログラムで、通算教育年数がフルタイム換算で3年間(一般的には4年以上が中心)のもの(日本では学士・修士に相当)。  
 「ISCED6(上級研究学位プログラム)」とは、博士号などの上位の研究資格の取得に直接結びつく高等教育プログラムで、通算教育年数がフルタイム換算で3年間(実際にはこれより長いことが多い)のもの(日本では博士に相当)。「ISCED5B(非大学型高等教育)」とは、就職に直接結びつく実践的、技術的及び職業技能に焦点を絞ったプログラムで、通算教育年数がフルタイム換算で最低2年間(日本では短大・高専・専修学校専門課程に相当)。

## 1-8 人口千人当たりの高等教育機関の在学者数の国際比較

**人口比では日本はアメリカの半分以下（大学院は1/4以下）**

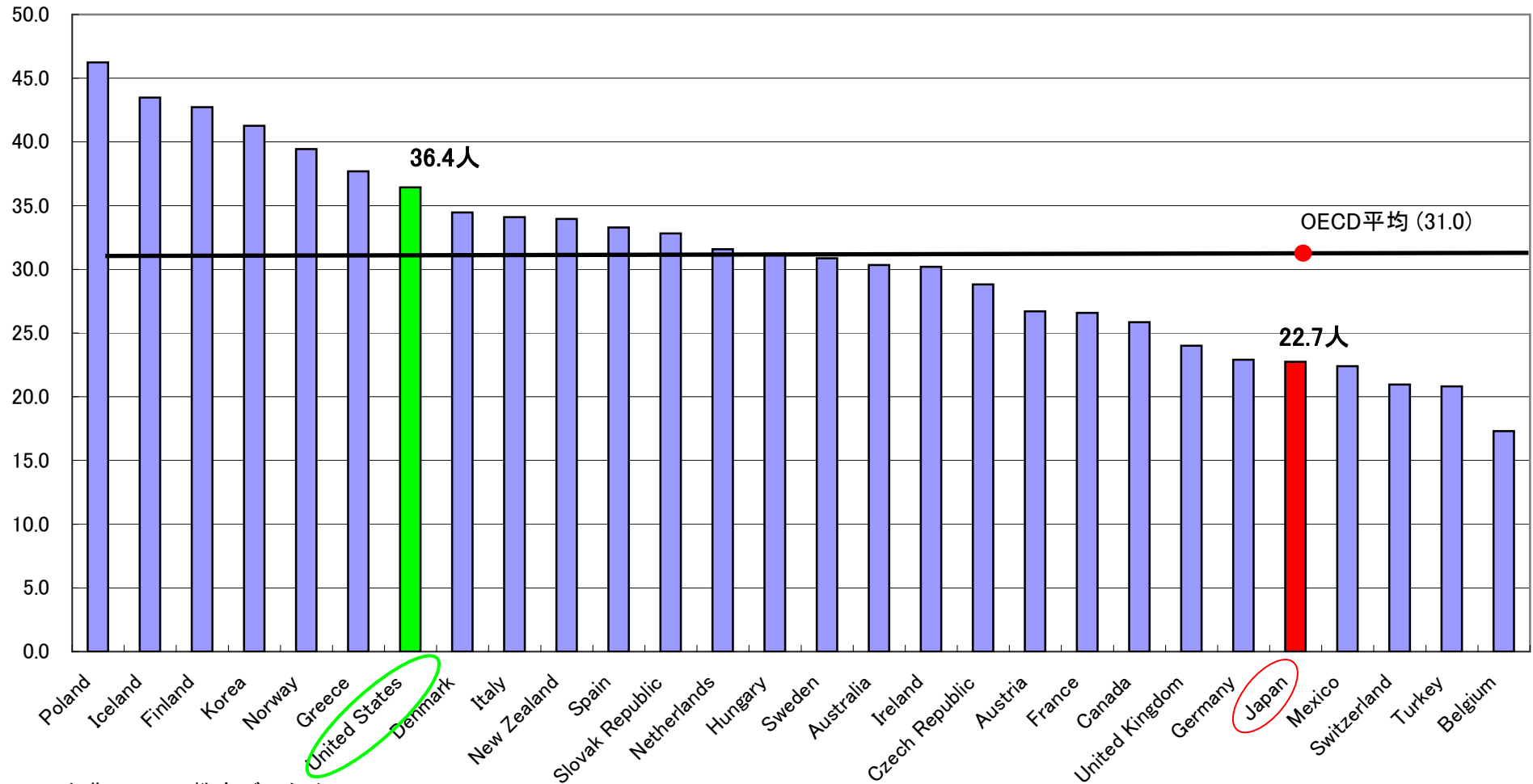
区 分		アメリカ合衆国	イギリス	フランス	日 本
全高等教育機関在学者の人口比	1994年 (平成6年)	人 31.3 (54.8)	人 19.7 (29.7)	人 36.5	人 23.7
	2004年 (平成16年)	36.1 (58.8)	24.3 (41.7)	36.8	23.6
うち、 大学院在学者の人口比	1994年 (平成6年)	人 3.72 (7.74)	人 2.23 (5.24)	人 3.65	人 1.11
	2004年 (平成16年)	4.51 (8.48)	3.79 (9.00)	8.62	1.91
全高等教育機関学生数	1994年 (平成6年)	千人 8,138 (14,279)	千人 1,153 (1,734)	千人 2,108.4	千人 2,965
	2004年 (平成16年)	10,610 (17,272)	1,456.7 (2,494.3)	2,232.6	3,008
うち、 大学院学生数	1994年 (平成6年)	人 969,070 (2,016,182)	人 130,000 (284,000)	人 210,763	人 138,752
	2004年 (平成16年)	1,325,841 (2,491,414)	226,900 (538,400)	523,465	244,024
全 人 口	1994年 (平成6年)	千人 260,341	千人 58,395	千人 57,779	千人 125,034
	2004年 (平成16年)	293,655	59,846	60,704	127,687

(注) ( ) 内はパートタイム学生（フルタイム換算ではない）を含めた数値である。

※ 日本の在学者は、大学院、大学学部・専攻科・別科、短期大学本科・専攻科・別科及び高等専門学校4、5学年の在学者

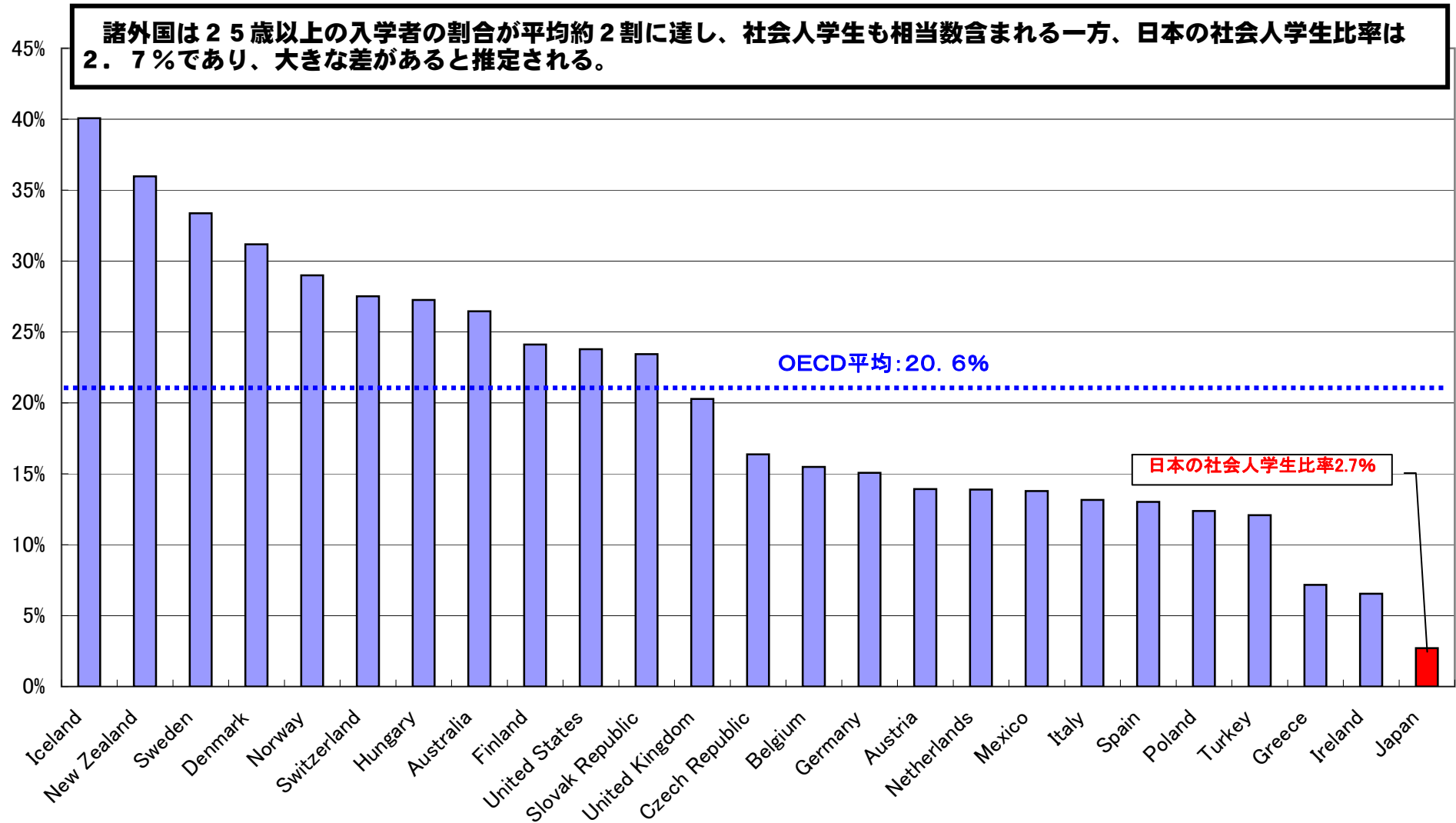
(出典) 文部科学省「教育指標の国際比較（平成19年度）」

○ 人口千人当たりの在学者数の国際比較【学部+大学院(FTE)】(2005年)



出典: OECD教育データベース

1-9 25歳以上の入学者の割合(大学型高等教育機関)の国際比較



出典: OECD教育データベース(2005年)。ただし、日本の数値については、「学校基本調査」(平成19年度)及び文部科学省調べによる社会人入学生数

## 1-10 留学生受入れ状況の国際比較

### ○ 留学生比率の国際比較

	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	オーストラリア	日本
留学生 (受入れ)数 (人)	564,766 (2005年)	356,080 (2005年)	248,357 (2005年)	265,039 (2005年)	228,555 (2004年)	118,498 (2007年)
留学生比率	5.5%	24.9%	12.3%	11.9%	24.2%	3.3%



諸外国に比して低水準

(注)オーストラリアについては、海外で設置された施設で受入れている学生数を含む

※ 文部科学省、日本学生支援機構、Institute of International Education(米)、Higher Education Statistics Agency(英)、ドイツ連邦統計庁、Deutscher Akademischer Austausch Dienst(独)、フランス教育省、フランス外務省、Australian Vice Chancellor's Committee(豪)、オーストラリア教育科学訓練省調べ